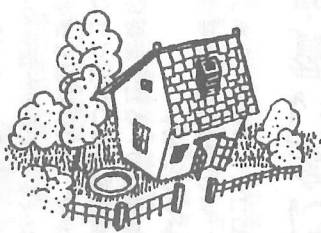


— 都市計画への提言 —

2

# 私の望むまちづくり



中学生にきく

## 美しい福祉のまち



2年 若梅 栄子

私達が住んでいる横芝町では、廃品回収・奉仕作業などを行っている。しかし、すぐに町中が汚なくなってしまう。それは、自動車の窓などから空かん・ごみを投げ捨てるからだ。

これを改善していくには、町の各箇所にごみ・空かん入れを増やすことだ。そして、投げ捨てるをやめるように呼びかける。このことを実行して、美しい町をつくりたいと思う。

次に、福祉活動を活発にして欲しいということだ。老人・身体障害者への福祉、その他にも町中の清掃など、いろいろあると思う。中学校でも、福祉活動をさかんにしようと努力している。町ぐるみでこのようにしていきたい。

最後に、大切な資源となっている栗山川を汚さないで欲しいと思う。栗山川が自分のものだったら、皆汚さないだろう。栗

山川が自分のものという意識を持つようにしたい。

住みよい町をつくるには、一人一人の心がけが大切だと思う。私も町の一員として、住みよい町をつくるように心がけていきたい。



## まず道路の整備を



3年 桑原 俊秀

環境のよい大総地区が好きだ。といっても、やはり産業が発達していないと不便で困る。そこで、産業の発展のために、まず道路の整備から始めたらいいのではないかと思う。

通学路のことも考えに入れ、多古方面から小堤、振子坂の下を通って横芝方面へのびる道路を整備してほしい。できれば、そのまま海岸までのびる大きな

## 栗山川をきれいに



1年 海保 美嘉

私は、栗山川がきれいな川へもどってもらいたいと思う。栗山川を見ると、ビールや空かんをはじめ、時には動物の死がいなどが浮いている。川というより、まるでごみ捨て場だ。

夏に、お祭りで栗山川に入るけれど、おみこしをかついでいる人達は、コーヒー色の川に入るのは、いい気持ちではないだろう。見ていてもきたない川に、まして入るとなれば、なおさら気持ち悪いに違いない。

楽しみにしているお祭りを、もっと楽しくするためにも、きれいな川である方がいい。

栗山川へ放流するサケも、四年後に帰って来る時、きれいな栗山川の方が帰って来たくなるだろう。人間だって、昔は泳げたのに、今はきたなくて泳ぐ気にもなれない。

私が望む町づくりとは、一人一人が心がけて、栗山川をきれいにすることである。

道路をつくってほしい。これは、大総だけではなく、横芝町全体の産業発展のためになると思う。しかし、そのために自然環境が破壊されるようなことがあってはならないと思う。先日、坂田池の工事があったが、それで坂田池はとてきれいな川になった。自然の開発は、このように自然とうまくハーモニー（調和）するようにやってほしいと思う。

